

住宅における良好な温熱環境の実現に向けて提言書を取りまとめました

日本の住宅は、断熱・気密性能が十分ではないものが多く、冬季の温熱環境は劣悪なものが多い実態にあります。特に、浴室・脱衣室・トイレ等の水回りは、温熱環境上の配慮がされていないのが一般的です。

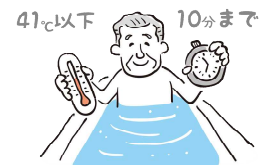
このため、一般財団法人ベターリビングでは、平成28年6月から建築・医学系の学識経験者および住宅関連事業者等からなる「住宅における良好な温熱環境実現研究委員会」（委員長：村上周三 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長）を設置し、健康な暮らしを支える良好な温熱環境を実現するための現実的な対応策等について検討を行いました。

この度、研究成果を踏まえ提言書を取りまとめ、一般ユーザー、事業者、国及び地方公共団体等に幅広く働きかけを行っております。

1. 「住宅における良好な温熱環境の実現に係る提言書」のポイント

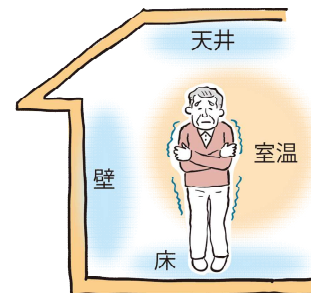
<一般ユーザーへの提言>

- ・住宅の温熱環境と健康の関連を認識し、部屋の温度を把握。
- ・入浴事故を防ぐための湯温や入浴時間。 など



<事業者（団体）への提言>

- ・新築住宅において出来るだけ高いレベルでの温熱環境の実現。
- ・既存住宅において「住宅改修における水回りの設計に資する温熱環境暫定水準案」を参考にした改修。
- ・良好な温熱環境実現のための住宅備品・設備の開発普及。
- ・一般ユーザーへの説明、普及・啓発の実施。 など



<国・地方公共団体への提言>

- ・高齢者住宅ガイドライン等、各種施策等への位置付け。 など

2. 提言書および報告書のダウンロードについて



- ・提言書および詳しい内容を記載した報告書（次ページに目次を記載）は、電子ファイル（PDF）をダウンロードしてご活用いただけます。ご入用の方は、委員会事務局までメールください。ダウンロード用のURLをご連絡いたします。
- ・その他、現在、一般の方向けの啓発用パンフレット等のツール類を作成中です。ツール類もダウンロードしてご活用いただけるよう、対応を行う予定です。

委員会事務局：(一財) ベターリビング サステナブル居住研究センター
メールアドレス：slc@cbl.or.jp

(参考) 「住宅における良好な温熱環境に関する調査研究報告書」(平成30年7月) 目次

序章

- 0.1 調査研究の背景
- 0.2 目的
- 0.3 調査研究の体制
- 0.4 調査研究の構成

第1章 あるべき住宅の姿 ～住宅全体での『望ましい温熱環境』に係る基本的考え方～

- 1.1 住宅の温熱環境による健康への影響について(既往研究より)
- 1.2 住宅全体での望ましい温熱環境に係る基本的な考え方

第2章 新築・改修における対策の基本的考え方

- 2.1 住宅における良好な温熱環境実現のための対策の全体概要

第3章 新築住宅における対策

第4章 既存住宅における対策

- 4.1 冬季における水回りの温熱環境の検討
- 4.2 既存住宅の改修方法
- 4.3 既存住宅ストックの概況把握および年間改善ペースの検討

第5章 周知普及策の検討

- 5.1 一般の生活者への周知普及策の検討
- 5.2 事業者への理解促進策の検討

第6章 効果の参考推計

- 6.1 浴槽での溺死者数を用いた効果算定方法の検討
- 6.2 対策戸数の設定および効果の推計
- 6.3 施策ケース別の推計結果
- 6.4 推計結果のまとめ

第7章 調査研究の結果のまとめ

第8章 「住宅における良好な温熱環境」の実現に係る提言

～より安全で健康に資する住宅ストックの実現に向けて～

参考資料

- 資料1 浴室・脱衣室等における暖房利用の実態の整理
- 資料2 各種住宅構造における具体的対策案
- 資料3 実証実験・シミュレーション評価の詳細
- 資料4 水回り暖房機器の例一覧
- 資料5 住宅における温熱環境に起因すると考えられる事故に関する記載の考え方について